

2022年2月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社関通
(証券コード：9326)

2022年1月14日



業績のポイント【2022年2月期第3四半期】

- ・営業利益が前年同期の2.7倍に増加。

売上高 7,567 百万円 (前年同期比 11.6 %増)

営業利益 559 百万円 (前年同期比 165.5 %増)

業績概要

売上高

【物流サービス事業】

2021年4月新設のEC通販物流センター、同年6月新設のD2C物流センターへの新規お客様の導入が寄与。一部のお客様による運賃契約（立替運賃）切替えによる減収をカバーし、前年同期比10.0%、652百万円の増収。

【ITオートメーション事業】

クラウドトーマスの契約社数は、期首の113社から32社増加し145社。新規のお客様の獲得が寄与し、前年同期比69.8%、131百万円の増収。

営業利益

内部管理体制の強化のほか、ITオートメーション事業における保守体制強化等による費用増があったものの、運賃契約（立替運賃）の切替えを含む低採算取引の見直しにより利益率は改善。加えて、新設の物流センター2拠点の賃料無償期間中に新規のお客様の導入が進み、前年同期比165.5%、348百万円の増益。

関通のあゆみ

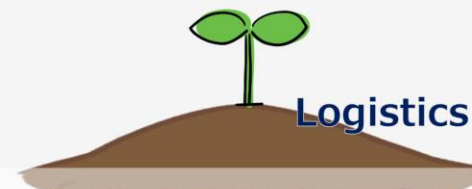
1997

日本の流通チャンネルに、
Eコマースという小さな種が植えられました。



1999

その種は芽吹き、成長を始めました。



私たちは その芽を大きくするために
「Eコマース物流」という土台を作りました。

関通は、日本のEコマースと
新たな流通チャンネルの創出を支える企業です。

2015

その芽は、どんどん大きくなり、
日本の流通に影響を与えるようになりました。



私たちは その芽をさらに大きくするために
様々な支援サービスを提供しました。

- ・倉庫管理システム
- ・受注管理代行業務
- ・冷凍冷蔵物流
- etc...

2019

やがて、その芽は大きな木となり、
日本の流通は、Eコマースを中心として周り、
その他チャンネルと連動するようになりました。



私たちは今、その木を大きな森にするために
新たな土台強化を提供しています。

- ・マルチチャンネル対応物流
- ・リユース対応物流
- ・レンタル物流
- ・D2C物流
- ・物流テック

目次

I .	2022年2月期 第3四半期決算概要	5
II .	2022年2月期 業績予想	19
III .	サービス概要	24
IV .	今後注力するサービス	38
V .	SDGs への取組み	43
VI .	ご参考資料	46



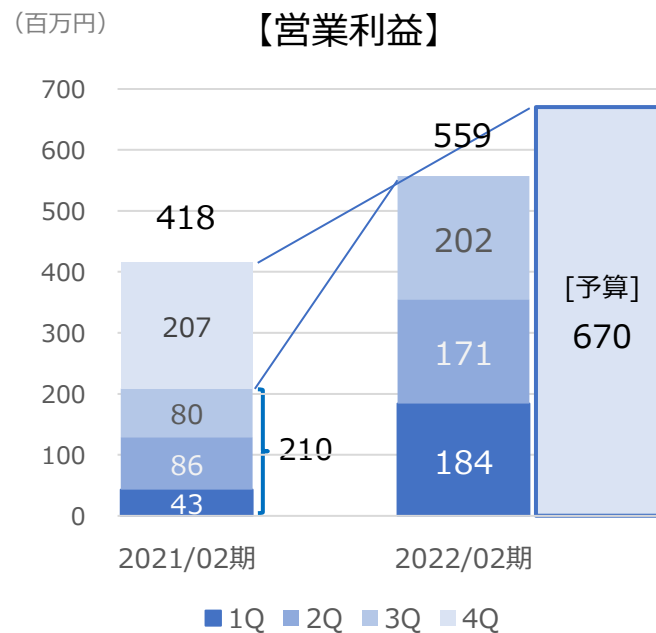
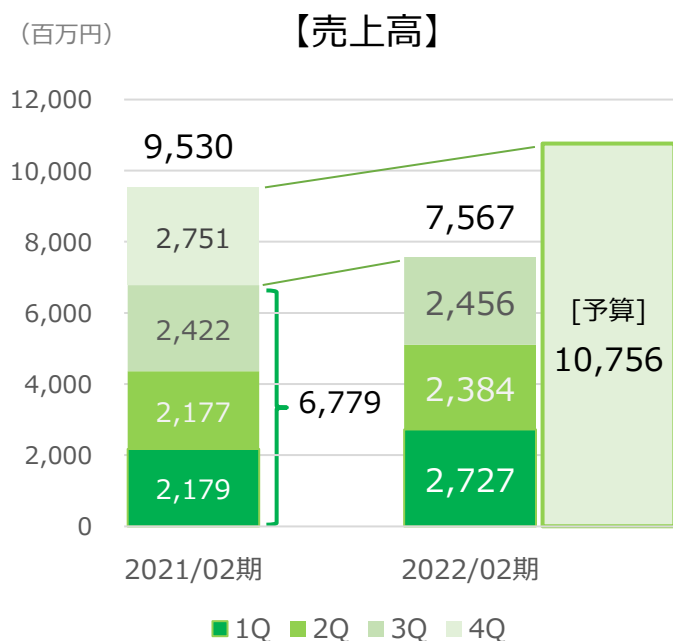
I . 2022年2月期 第3四半期 決算概要

1. 2022年2月第3四半期決算のハイライト

利益重視の施策が増益に貢献。営業利益の通期予算進捗率は80%超。

売上高 7,567 百万円 (通期予算進捗率 70.4 %)

営業利益 559 百万円 (通期予算進捗率 83.4 %)



2. 2022年2月期第3四半期業績のサマリー

物流サービス事業、ITオートメーション事業ともに、順調に売上を伸ばし増収増益。

(単位：百万円，%)

	2021/2期 第3Q		2022/2期 第3Q		前年同期比	
	累計	百分比	累計	百分比	増減額	増減率
売上高	6,779	100.0	7,567	100.0	788	11.6
売上総利益	717	10.6	1,178	15.6	461	64.3
販管費	506	7.5	619	8.2	112	22.2
営業利益	210	3.1	559	7.4	348	165.5
経常利益	184	2.7	530	7.0	345	186.9
四半期純利益	134	2.0	365	4.8	231	171.9
EPS (円)	15.28	—	36.15	—	—	—

* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたことにもない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第3Qに販管費に含めておりました減価償却費15百万円は、売上原価に組替えております。

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

3. 四半期業績推移のサマリー

通期予算に対する進捗率は、売上高70.4%、営業利益83.4%となり、通期予算比で堅調に推移。

(単位：百万円，%)

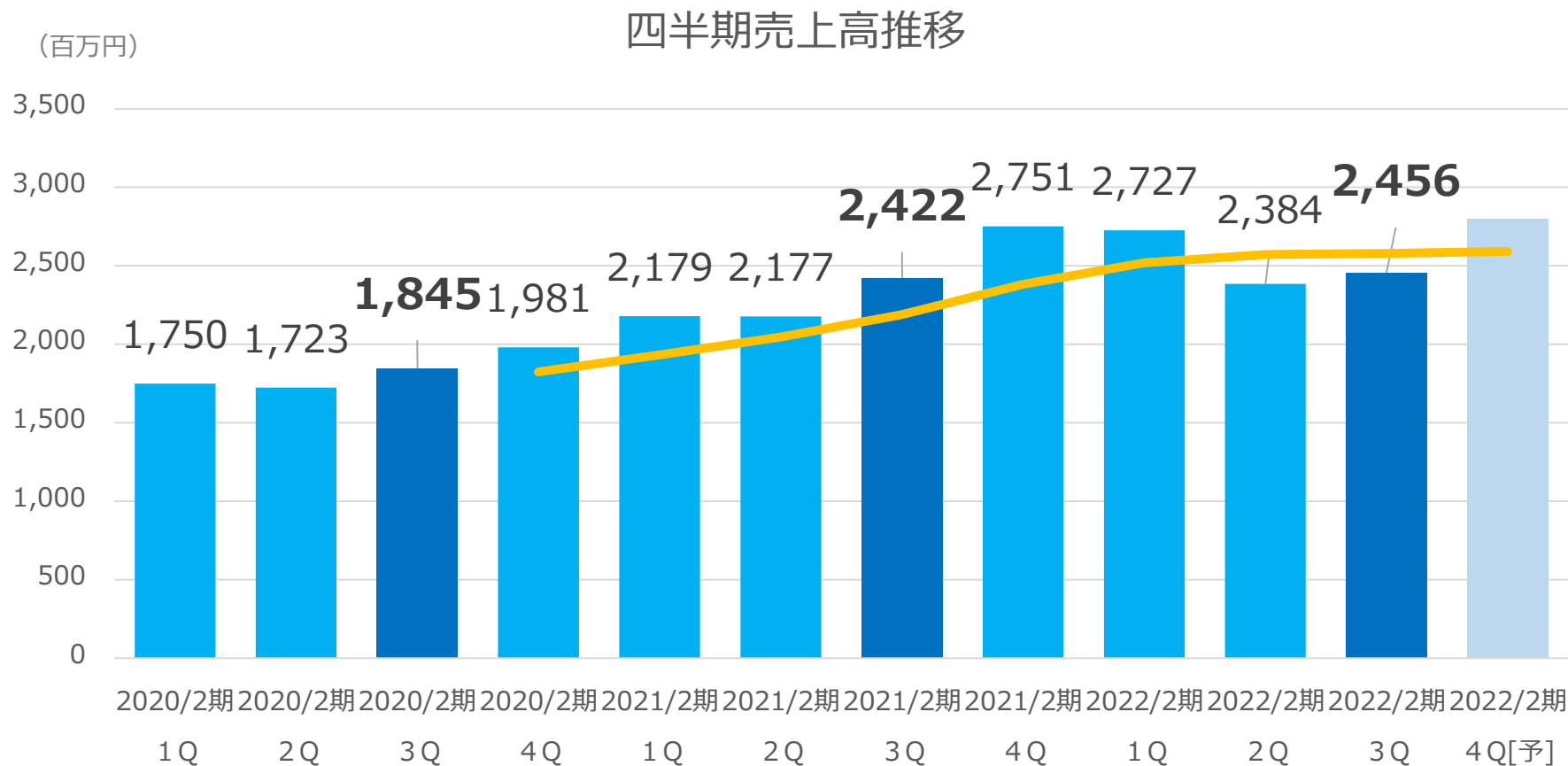
	2021/2期				2022/2期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	累計	通期予算 進捗率	通期予算
売上高	2,179	2,177	2,422	2,751	2,727	2,384	2,456	7,567	70.4	10,756
売上総利益	212	255	249	408	397	371	409	1,178	73.3	1,608
販管費	168	169	168	201	213	199	206	619	66.0	937
営業利益	43	86	80	207	184	171	202	559	83.4	670
経常利益	32	78	74	198	171	163	195	530	83.5	635
四半期純利益	23	55	55	148	117	112	135	365	85.2	428
EPS (円)	2.78	6.12	6.14	15.86	11.92	10.95	13.19	36.15	—	42.27


* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたことにとまない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第3Qに販管費に含めておりました減価償却費15百万円は、売上原価に組替えております。

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

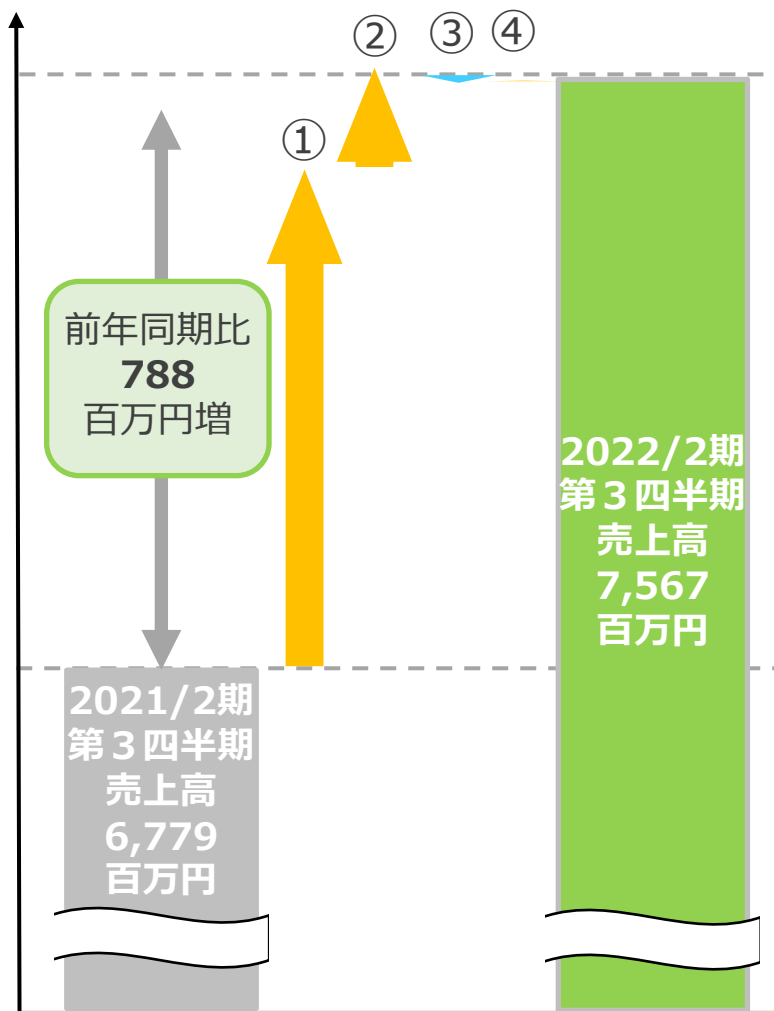
3. 四半期業績推移のサマリー

四半期毎の売上高は前年同期比拡大基調で推移。



* グラフ中の「」は、各四半期における直近4四半期の売上高の移動平均値を示しております。

4. 売上高の増減要因



① EC・通販物流支援サービスの増加

一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期獲得の新規お客様、第2四半期までに新規導入のお客様が四半期の売上に寄与。

前年同期比 +657百万円

② ITオートメーション事業の増加

契約社数が堅調に推移したことに加え、第1四半期にクラウドトーマスの新規導入に関連して物流業務の自動化装置を販売。

前年同期比 +131百万円

③ その他物流サービスの減少

主に新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため学べる倉庫見学会を開催中止したこと等による影響。

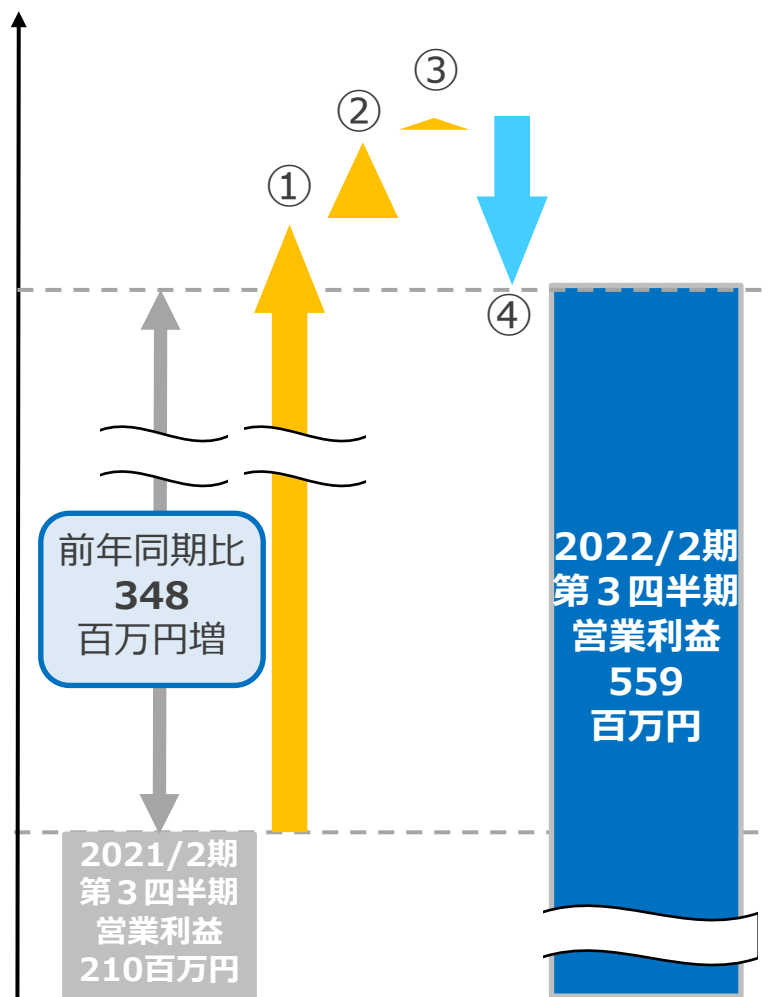
前年同期比 △5百万円

④ その他の事業の増加

主に新型コロナウイルス感染拡大により外国人技能実習生教育サービスの売上高が減少も、発達障がい者向け就労移行支援サービスの売上高の増加が寄与。

前年同期比 +4百万円

5. 営業利益の増減要因



① 物流サービス事業の売上総利益の増加

主にEC・通販物流支援サービスに係る売上高の増加が寄与。

前年同期比 +402百万円

② ITオートメーション事業の売上総利益の増加

人員強化等の保守体制の充実を図るも、売上高の増加が寄与。

前年同期比 +50百万円

③ その他の事業の売上総利益の増加

既存のサービス提供が堅調に推移し損益が改善。

前年同期比 +8百万円

④ 販管費の増加 (△)

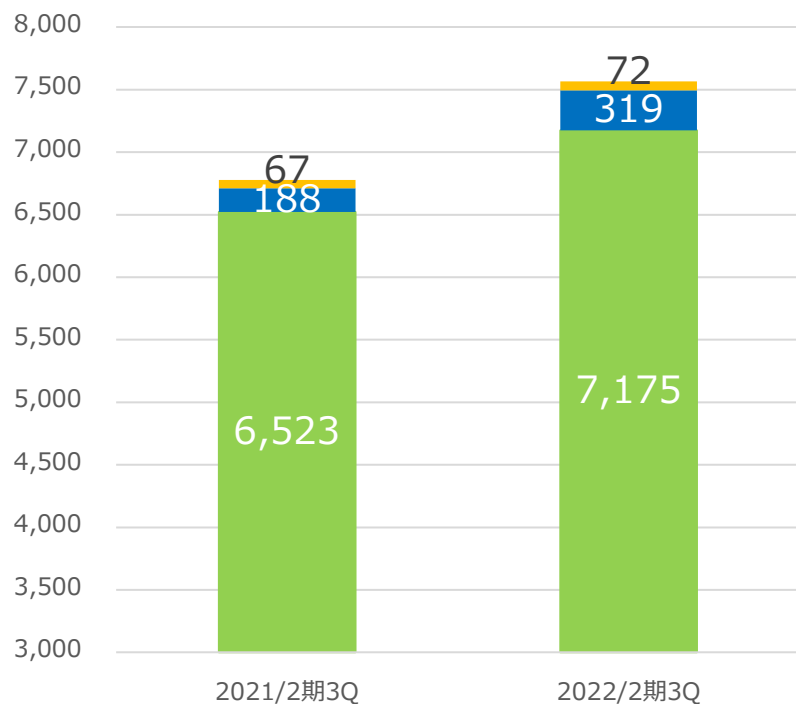
主に内部管理体制、広告宣伝の強化等による販管費の増加が影響。

前年同期比 △112百万円

6. セグメント別 (1) 全体

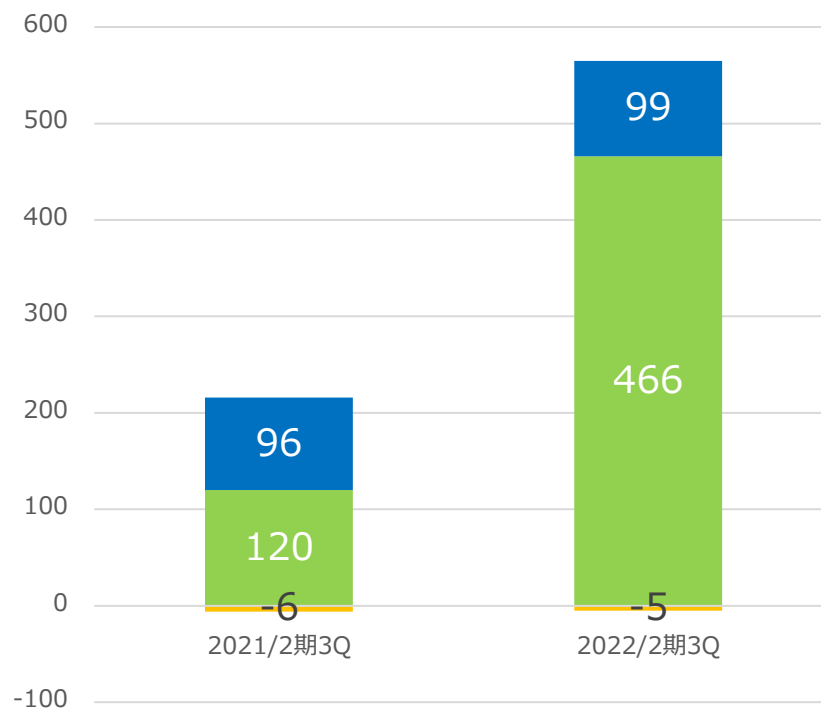
- 物流サービス事業の営業利益は前年同期比345百万円増加し、増益を牽引。
- ITオートメーション事業の売上高は前年同比131百万円増加し、高い増収率を維持。

(百万円) セグメント別の売上高構成



■ 物流サービス事業 ■ ITオートメーション事業 ■ その他の事業

(百万円) セグメント別の営業利益構成



■ 物流サービス事業 ■ ITオートメーション事業 ■ その他の事業

6. セグメント別 (2)物流サービス事業

- 一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期及び第2四半期までに獲得の新規お客様が四半期寄与し、売上高は前年同期比10.0%、652百万円増。
- 運賃契約（立替運賃）の切替えを含む低採算取引の見直しにより利益率は改善。加えて、新設の物流センター2拠点の賃料無償期間中に新規のお客様の導入が進み、セグメント利益は前年同期比285.9%、345百万円増。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第3Q		2022/2期第3Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス	6,389	97.9	7,046	98.2	657	10.3
受注管理業務代行サービス	69	1.1	81	1.1	12	18.3
その他	65	1.0	47	0.7	△17	△27.4
セグメント売上高	6,523	100.0	7,175	100.0	652	10.0
セグメント利益	120	1.9	466	6.5	345	285.9

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。

6. セグメント別 (3)ITオートメーション事業

- クラウドトーマスの契約社数は堅調に推移し、第1四半期に新規導入に関連して物流業務の自動化機器を販売したこと等で、売上高は前年同期比69.8%、131百万円増。
- 自動化機器の販売で原価率が上昇したほか、昨年、トーマスProをリリースし、またサポート体制の強化するも、セグメント利益は前年同期比2.2%、2百万円増。

(単位：百万円, %)

		2021/2期第3Q		2022/2期第3Q		前年同期比	
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
	クラウドトーマス	117	62.2	237	74.2	120	102.6
	その他	71	37.8	82	25.8	11	15.9
セグメント売上高		188	100.0	319	100.0	131	69.8
セグメント利益		96	51.4	99	31.0	2	2.2

6. セグメント別 (4)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスは、新型コロナウイルスの感染拡大等により、新規のサービス提供ができず減少となるも、その他教育サービスは2020年12月にサービス提供を開始した発達障がい者向け就労移行支援サービスを含め堅調に推移し、売上高は前年同期比7.2%増。
- 発達障がい者向け就労移行支援サービスの提供開始による費用増加も、セグメント利益は前年同期比1百万円改善。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第3Q		2022/2期第3Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	16	24.2	8	11.7	△7	△48.3
その他教育サービス	51	75.8	63	88.3	12	24.9
セグメント売上高	67	100.0	72	100.0	4	7.2
セグメント利益	△6	-	△5	-	1	-

7. 要約貸借対照表

	2021/2期末		2022/2期第3Q末		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	4,142	55.0	4,707	55.1	565
現金・預金	2,592	34.4	3,085	36.1	492
売上債権	1,256	16.7	1,127	13.2	△128
その他	293	3.9	494	5.8	200
固定資産	3,390	45.0	3,843	44.9	452
有形固定資産	2,326	30.9	2,544	29.8	218
無形固定資産	259	3.5	308	3.6	48
投資その他資産	804	10.7	989	11.6	184
資産合計	7,532	100.0	8,550	100.0	1,017
流動負債	1,836	24.4	1,775	20.8	△60
仕入債務	472	6.3	320	3.7	△151
有利子負債	817	10.9	824	9.6	6
その他	546	7.3	630	7.4	84
固定負債	4,101	54.4	4,146	48.5	45
有利子負債	3,867	51.3	3,866	45.2	△0
その他	234	3.1	280	3.3	45
負債合計	5,937	78.8	5,922	69.3	△15
純資産合計	1,595	21.2	2,628	30.7	1,032
負債純資産合計	7,532	100.0	8,550	100.0	1,017

(単位：百万円，%)

新株予約権の行使等による増加

冷凍冷蔵・自動倉庫新設工事等による増加

物流センターの新設による差入保証金等の増加

2021/2期末が休日であったことによる影響
発送運賃等の減少にともなう減少

新株予約権の行使、四半期純利益計上による増加

8. 設備投資の状況

【物流センター新設投資計画・実績】

(2021年11月30日現在) (単位：百万円)

投資対象	目的	投資 予定額	既払金	着手完了 予定年月
D2C物流センターの開設 (兵庫県尼崎市) [2021年6月オープン]	既存のお客様の増床、新規 のお客様の導入に対応。 [約5,200坪]	265	160	2021/05~ 2022/02
EC通販物流センターの開設 (兵庫県尼崎市) [2021年4月オープン]	既存のお客様の増床、新規 のお客様の導入に対応。 [2施設で約13,900坪]	747	309	2021/03~ 2023/02
東京主管センターの開設 (埼玉県新座市) [2022年2月オープン予定]				
物流センターの新設 (兵庫県尼崎市) [2022年12月オープン予定]	既存のお客様の増床、新規 のお客様の導入に対応 [約4,300坪]	216	35	2021/09~ 2024/02
物流センターの新設 (兵庫県尼崎市) [2023年11月オープン予定]	既存のお客様の増床、新規 のお客様の導入に対応 [約8,700坪]	442	—	2023/10~ 2025/02

既払金の内訳
敷金 139百万円
その他 21百万円

既払金の内訳
敷金 227百万円
その他 82百万円

既払金の内訳
敷金 35百万円

8. 設備投資の状況

【物流設備投資計画・実績】

(2021年11月30日現在) (単位：百万円)

投資対象	目的	投資 予定額	既払金	着手完了 予定年月
物流センターへの物流ロボットの導入	物流ロボット、及び自動化機器導入の横展開。	400	189	2021/03~ 2022/02
冷凍冷蔵設備の新設 (埼玉県新座市)	冷凍冷蔵商品のEコマースを展開する新規のお客様の導入に対応。	640	—	2022/02~ 2022/04

既払金の内訳
 自動倉庫設備 154百万円
 自動化機器 34百万円

【ソフトウェア開発投資計画・実績】

(2021年11月30日現在) (単位：百万円)

投資対象	目的	投資 予定額	既払金	着手完了 予定年月
ソフトウェアの開発	倉庫管理システム「クラウドトーマス」の機能強化等。	300	96	2021/03~ 2023/02

【設備投資／減価償却費】

(単位：百万円)

	2021/2期			2022/2期		
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計
設備投資 (固定資産)	102	379	638	284	638	846
減価償却費 (総額)	52	108	170	70	143	221

Ⅱ. 2022年2月期 業績予想

1. 2022年2月期 業績予想

- 売上高は前期比12.9%増、営業利益60.4%増と増収増益の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期 実績		2022/2期 予想		前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	9,530	100.0	10,756	100.0	1,226	12.9
売上総利益	1,126	11.8	1,608	15.0	482	42.9
販管費	707	7.4	937	8.7	229	32.5
営業利益	418	4.4	670	6.2	252	60.4
経常利益	383	4.0	635	5.9	251	65.7
当期純利益	283	3.0	428	4.0	145	51.5
EPS (円)	31.66	—	42.27	—	—	—

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2. セグメント別(1)物流サービス事業

- EC・通販物流支援サービスは引続き市場拡大する中、兵庫県尼崎市に2件の物流センターを新設し、約10,800坪を増床。
- 一部のお客様の契約切替えにより運賃売上が予算上の通期売上高見込額で約800百万円減少する見込み（各段階利益への影響額は僅少）である一方で、前期及び当期の新規のお客様に対する売上高として約1,500百万円を見込む。（単位：百万円，％）

		2021/2期		2022/2期		前期比	
		実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス		8,968	98.1	10,115	98.3	1,146	12.8
受注管理業務代行サービス		92	1.0	111	1.1	18	19.7
その他		85	0.9	66	0.6	△19	△22.8
セグメント売上高		9,146	100.0	10,292	100.0	1,145	12.5

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。
 * ソフトウェア販売・利用サービスは、2022/2期 第1四半期から、報告セグメントを「ITオートメーション事業」として独立して開示するため、2021/2期に遡及して物流サービス事業から同サービスを除いて表示しております。

2. セグメント別(2)ITオートメーション事業

- 倉庫管理システム「クラウドトーマス」に加え、より一層、お客様のニーズ・規模に応じた個別カスタマイズが可能な「クラウドトーマスPro」をラインアップすることで、お客様層の拡大を図る。
- クラウドトーマスの業績予想は保守的にカスタマイズ売上を見込まずも、売上高は前期比20.8%、42百万円増の見通し。

(単位：百万円，%)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
クラウドトーマス	202	68.2	244	70.1	42	20.8
その他	94	31.8	104	29.9	10	10.6
セグメント売上高	297	100.0	349	100.0	52	17.6

*ITオートメーション事業における2021/2期実績の数値は、物流サービス事業におけるソフトウェア販売・利用サービスの実績数値を用いております。

2. セグメント別 (3)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ミャンマーの政情不安の影響が予想される一方で、昨年度新設の発達障がい者向け就労移行支援サービスが売上に貢献する見込みで、その他の事業の売上高は前期比33.1%、28百万円増の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	19	22.0	10	9.4	△8	△43.3
その他教育サービス	67	78.0	104	90.6	36	54.7
セグメント売上高	86	100.0	115	100.0	28	33.1

Ⅲ. サービス概要

1. これまでのサービス展開

西暦	沿革
1986年	法人設立/運送事業サービスご提供開始
1991年	東大阪に配送センター開設 物流加工サービスご提供開始
1992年	物流事業部設立/BtoB向け物流サービスご提供開始
1999年	「EC・通販物流支援サービス」をご提供開始
2000年	ISO9001認証開始
2001年	本社・物流センター移転 東大阪エリアヘドミナントを展開開始
2007年	ISO14001認証取得
2010年	受注管理業務代行サービス開始
2014年	ISMS (ISO27001) 認証取得
2016年	チェックリストシステム「アニー」をご提供開始
2017年	千葉県柏市に首都圏通販物流センターを開設 関東へ本格的に進出
2017年	兵庫県尼崎市に関西主管センターを開設 尼崎エリアヘドミナントを展開開始
2019年	倉庫管理システム (WMS) 「クラウドトーマス」を本格的にご提供開始
2019年	楽天株式会社と資本業務提携/RSL尼崎を展開
2020年	東京証券取引所に株式上場
2021年	「クラウドトーマスPro」本格的にご提供開始
2022年	関東関西17拠点、総面積60,700坪に (予定)



創業36年 軽貨物の運送事業からスタート



日本EC創成期に最速でEコマース物流に参入



倉庫管理システム「クラウドトーマス」を提供開始



関東関西17拠点、総面積60,700坪に (2022年2月予定)

2. サービス概要

成長を支える2つの企業ドメインで躍進

お客様

物流の悩み・課題（成長・品質・生産性・在庫管理etc）

物流サービス事業

EC・通販物流支援

ありとあらゆる業種に対応させていただきます！

配送センター機能、物流部門をアウトソーシング
様々な物流課題を**関連独自のノウハウ**で解決！

冷凍冷蔵物流支援

冷凍から冷蔵、常温に対応した
自動倉庫の設置が決定!!

【自動車販売に集まるECの自動倉庫センター（総面積：5,600坪）にて新設】

物流の増加及び冷凍冷蔵業務の需要の高まりに対応し、弊社に蓄蔵及び作業可能に対応した自動倉庫設置を、自動車販売に集まるECの自動倉庫センター（総面積：5,600坪）にて新設することを決定いたしました！

- 自動倉庫設置の稼働はコナラ
- 自備用・他社対応も可

受注管理代行

物流業務 + 受注処理

ワンストップでアウトソーシング

おすすめの
お客様の成長に
対応します！

- ・ toB対応物流支援
- ・ リユース物流支援
- ・ RSL運営

年間1100万個出荷

ITオートメーション事業

倉庫管理システム クラウドトーマス

クラウドトーマスは、お客様の現場にあったWMSをご提供できるよう、様々なラインナップをご用意しております。

カスタマイズ対応可能
クラウドトーマスPro

食品業界向け
For foods

医療業界向け
For medical

アパレル業界向け
For apparel

アニメーション

- ✓ 教育時間が**1/10**に
- ✓ 業務のミスが**0**に

マニュアルとチェックリストの両方の機能をもったクラウド型業務管理ツールで、弊社の業務を、「見える化」そして「改善」しませんか？

物流機器販売

ユーザー数2000名以上

物流委託

自社物流の改善

ご購入者様

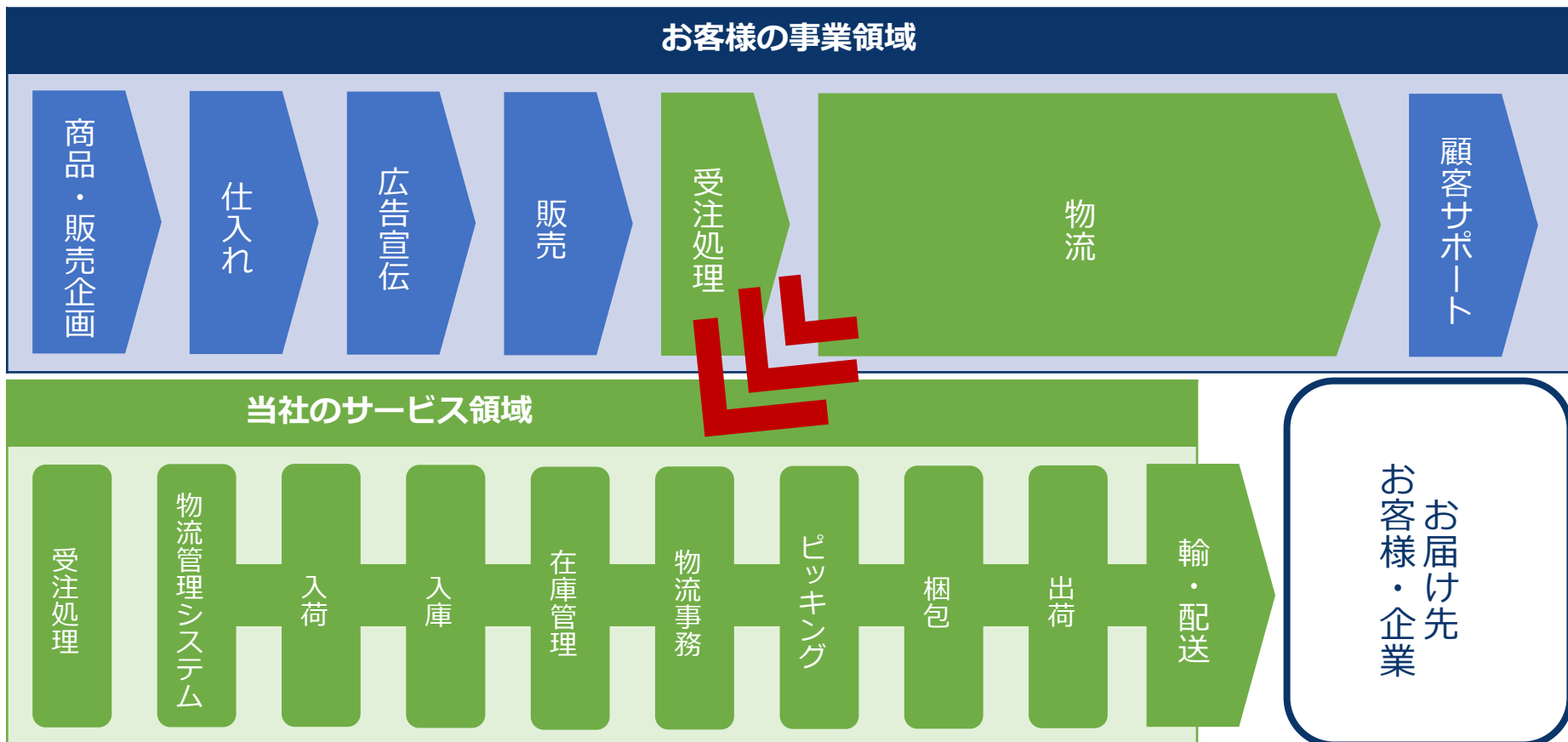


課題解決

- プロの物流会社のノウハウが詰まっています
- 新人さんでも使いやすいわかりやすい
- スピード導入

3. 物流サービス事業

物流の「**倉庫内オペレーション**」を徹底的に磨きあげた、当社の主力事業。
商品の入庫、在庫管理及び出庫等の物流業務をEコマース事業者やメーカーなどから受託し、
お客様に代わって配送センター業務を行うサービス。
また、受注管理業務代行サービスや物流システムを連携し、ワンストップソリューションも提供。



3. 物流サービス事業

競合他社に負けない、地に足がついた戦略が我々にはあります。

☑品質と生産性が違う



年間出荷個数
1,100万個以上!
1,000社以上の実績!

出荷精度 **99.995%**以上!
16.5PPM
© 2021年3月時点

梱包・発送業務でこんなお悩みありませんか?

- ☑ 梱包や発送間違いのミスが多い・・・
- ☑ 繁忙期になると出荷が追いつかない・・・
- ☑ 受注から出荷までのリードタイムを短くしたい・・・

☑ノウハウと経験が違う



月間出荷件数10万件以上を実現

関通の物流は
出荷量増大に
対応します

☑ソリューションの幅が違う



販路拡大への第一歩。

お客様対応のエキスパートが御社の業務をスムーズにします。
時間を有効に使い、本来の業務に専念できます。

☑キャパシティが違う



埼玉県新座市に約8,000坪の
新センターOPENが決定

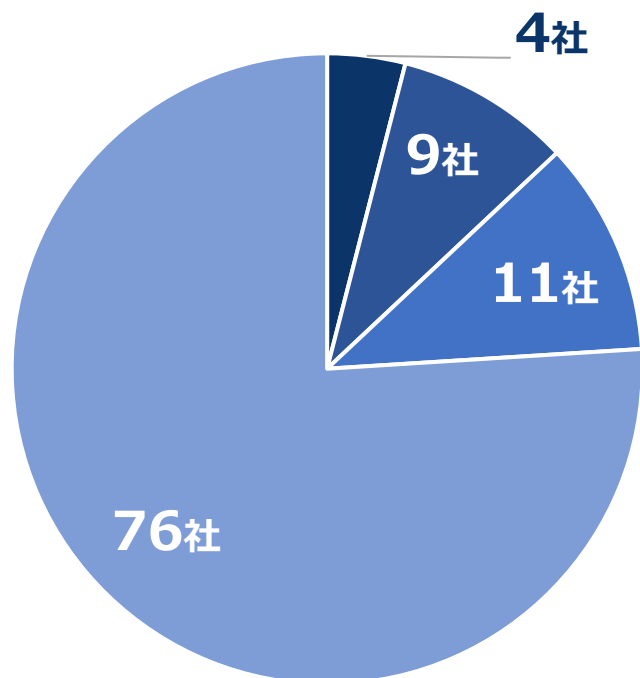
さまざまな物流ニーズをトータルでサポートします

- 販売量増による物流対応
- 冷凍冷蔵倉庫での3温度帯対応
- 2拠点運用によるBCP対応
- 配送リードタイム短縮
- 運賃コスト削減

4. 厚い顧客基盤

特定のお客様に依存しない顧客基盤

【売上占有率別のお客様数】（2022年2月期3Q累計実績）

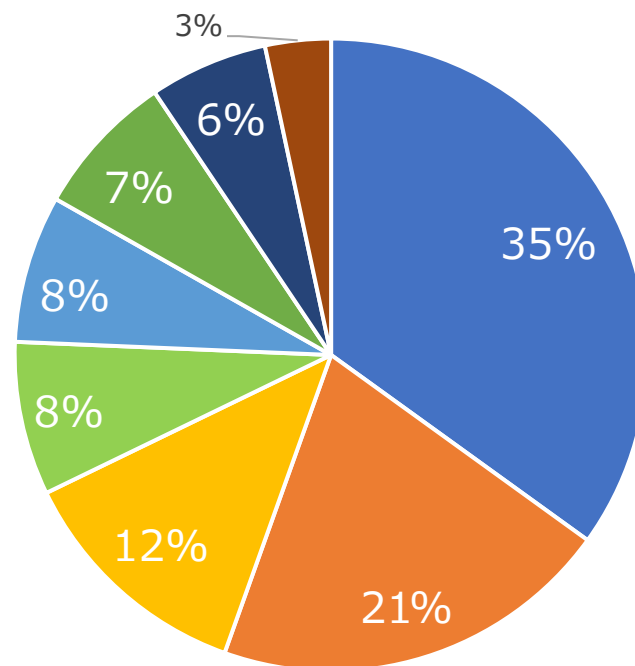


- 売上占有率5%以上
- 売上占有率2%以上5%未満
- 売上占有率1%以上2%未満
- 売上占有率1%未満

※ 2022年2月期第3四半期累計売上高実績上位100社から算出。

多様な業種のお客様の物流を支援

【業種別売上高構成比】（2022年2月期3Q実績）



- 衣類、服装雑貨等
- 食品、飲料、酒類
- その他
- 生活雑貨、家具、インテリア
- 化粧品、医薬品
- サービス
- 書籍、映像・音楽ソフト
- 生活家電、AV機器、PC

※2022年2月期第3四半期累計売上高実績上位100社から算出。
※楽天スーパーロジスティクスサービスは「サービス」に分類。

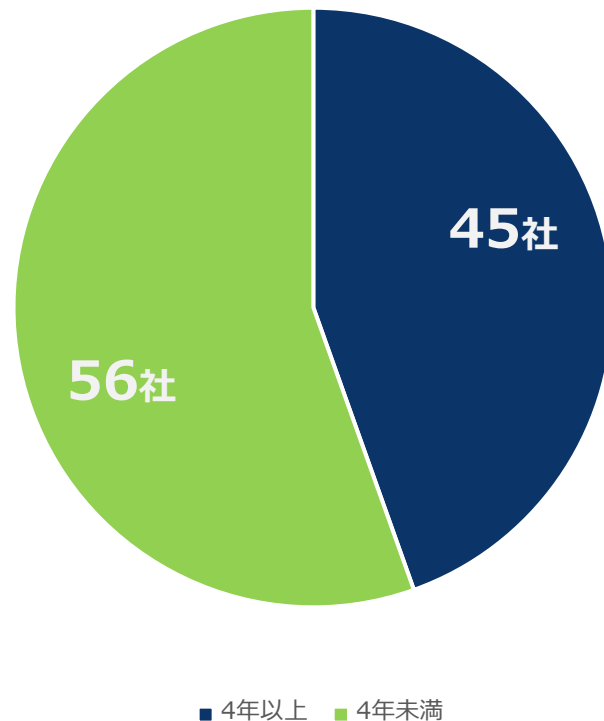
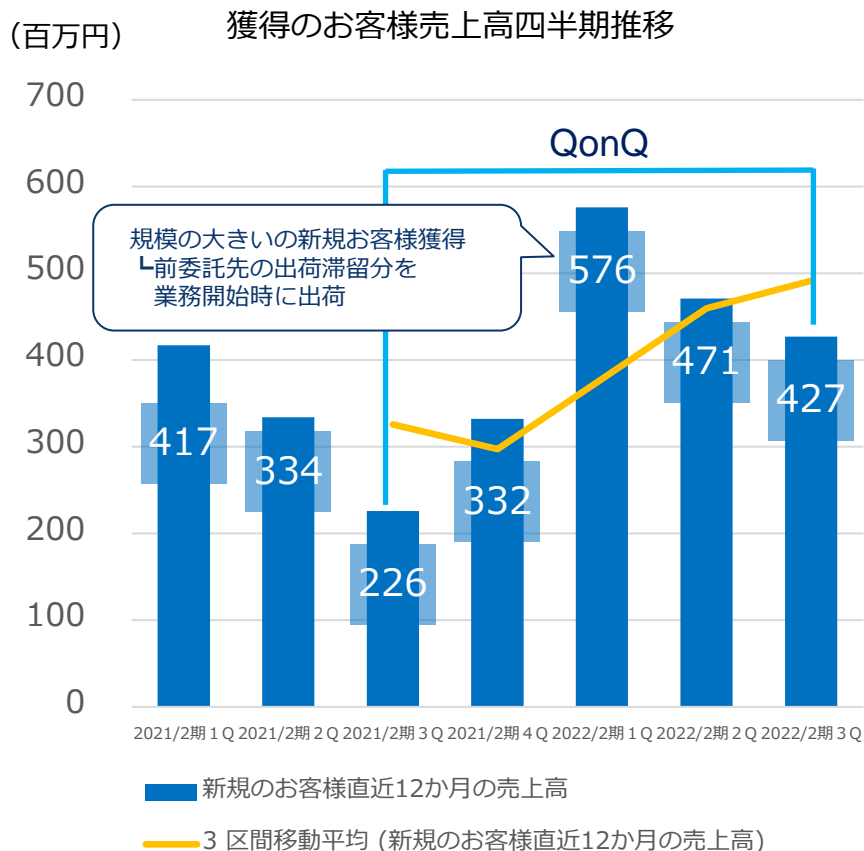
5. 新規のお客様獲得と継続力

毎年の新規のお客様が
当社の成長を支える。

お客様への長期間にわたるサービス提供

EC・通販物流支援サービス 直近12か月の新規

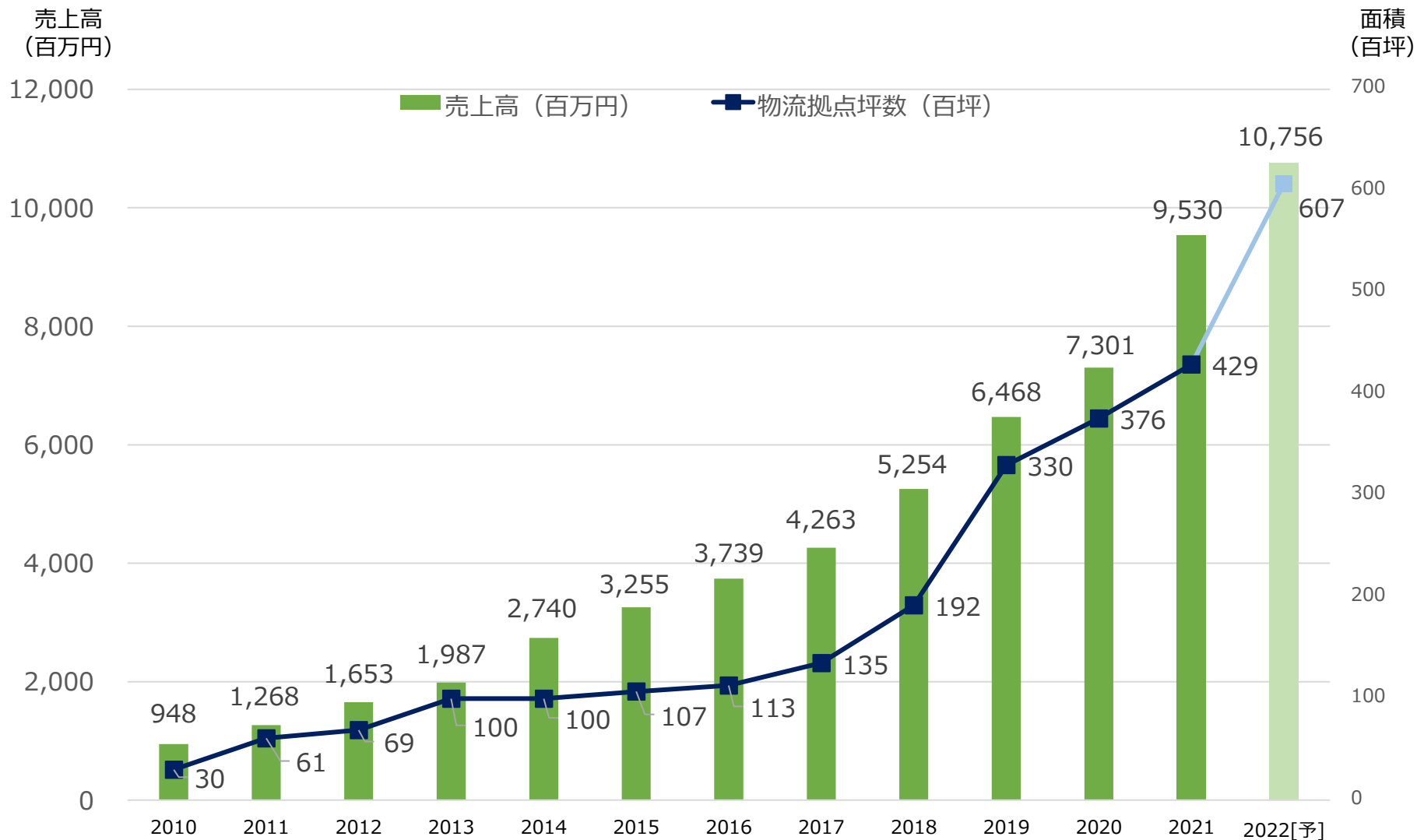
【お客様との契約年数】 (2022年2月期3Q実績)



※ 2022年2月期第3四半期累計売上高実績上位100社から算出。

6. 拠点坪数と売上高の推移

新規のお客様獲得だけでなく、既存のお客様との安定したお取引が当社の成長を牽引。

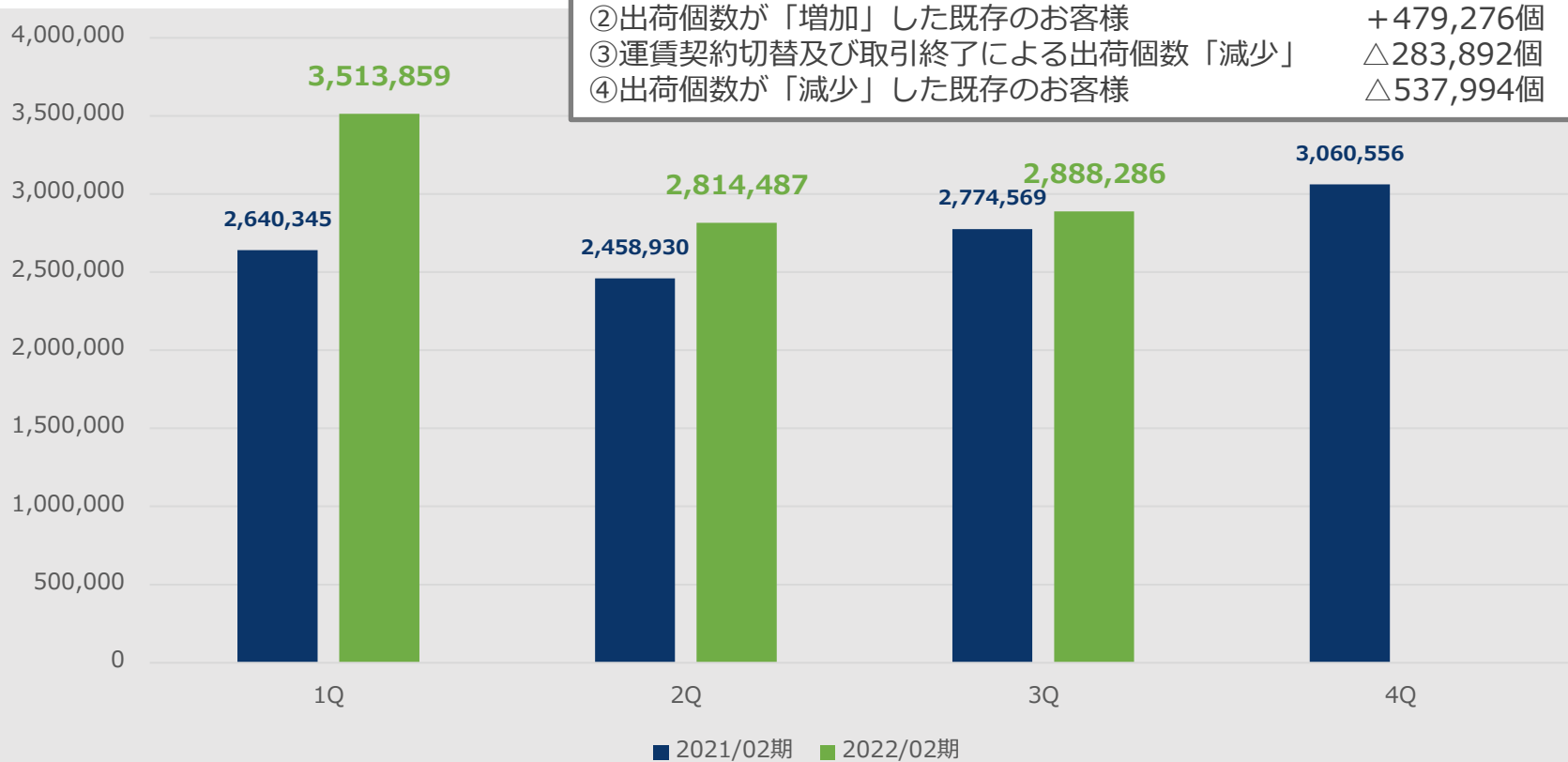


7. 出荷個数の推移

インターネット通販の黎明期である2000年頃から業務を開始し、出荷個数の増加に対応。多くの有名ショップの成長を支え、年間約1,100万個（2021年2月期実績）の出荷を担う。

四半期出荷個数推移

(単位：個)



【2022年2月期第3四半期】

※第3四半期（9月から11月）においても前年同期比4.1%、113,717個増加し増加基調を維持。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ①新規取引開始による出荷個数の「増加」 | +456,327個 |
| ②出荷個数が「増加」した既存のお客様 | +479,276個 |
| ③運賃契約切替及び取引終了による出荷個数「減少」 | △283,892個 |
| ④出荷個数が「減少」した既存のお客様 | △537,994個 |

8. 物流ドミナント戦略

物流ドミナント戦略を
2001年に生み出し、
お客様の成長対応をしています。
(関東関西3エリアで展開中)



※各地域の坪数は、2022年2月までの予定を含んでおります。

2022年2月新設の東京主管センターの
5km圏内には、物流センター4拠点を配置。
合計19,100坪(2022年2月予定)を集約し、
採用力、対応力、輸送力を最大化。
新座エリアでは現在約150名のスタッフを雇用
2021年度は50名増員遂行中
外国人技能実習生50名採用予定

9. ITオートメーション事業

プロの物流会社が提供しているWMS(倉庫管理システム)として高い評価を獲得。
物流設計と、現場で使えるまでプロの物流スタッフが支援する
「導入支援」サービスが、「クラウドトーマス」の他社にない強み。

さあ、物流の悩みを解決しよう！

90%以上の企業様が
選んでいます！

物流のプロが行う
本気の導入サポート

—物流改善を実現できるWMSクラウドトーマス—



クラウドトーマスは、お客様の現場にあったWMSをご提供できるよう、様々なラインナップをご用意しております。



カスタマイズ対応可能
クラウドトーマスPro



食品業界向け
For foods



医療業界向け
For medical

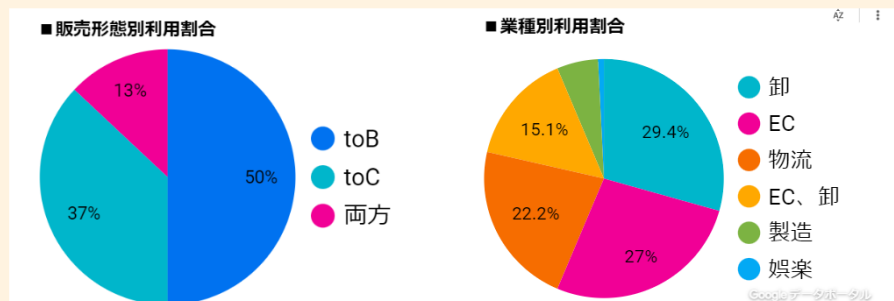


アパレル業界向け
For apparel

9. ITオートメーション事業

クラウドトーマスは、**toC・toB**問わず使えます！

クラウドトーマス利用現場の使用比率



クラウドトーマスは、業種業態を問わず様々な企業様で成果を上げているWMSです。BtoC(eコマース)、BtoB(卸、店舗、レンタル等)、両方の物流現場で使われており、資材、雑貨、食品、アパレル、化粧品、家具、家電などあらゆる商品の物流管理で利用されています。

1 成果の出る物流ノウハウを提供し、**物流改善が実現できる**

物流改善の実績1,000社以上、物流のプロが作ったWMS

2 **物流のプロによるWMS導入支援**が受けられる

3 上流・下流のシステムと**データ連携が可能**

4 あなたのニーズに応える、**2つのWMSが選べる**

クラウドトーマス

小・中型の物流現場に好評、手軽に導入可能

クラウドトーマスPro

中・大型の物流現場向けのカスタマイズ可能

物流現場が本当に変わる！だからトーマスが選ばれています。 導入企業様からの反響続々！



株式会社三好漆器様

toC

セールの時期でも定時には出荷作業が終われるようになり、2時間の残業が削減されました...

[続きを読む](#)



三誠商事株式会社様

両方 (toC & toB)

1時間で20件ほどだった作業件数が、40件ほどまで上がりました

[続きを読む](#)



株式会社ネイルセレクト様

toB

在庫管理の改善はもちろん、ピッキングから梱包までの時間短縮を実現することができま...

[続きを読む](#)



株式会社ウォーネット様

toC

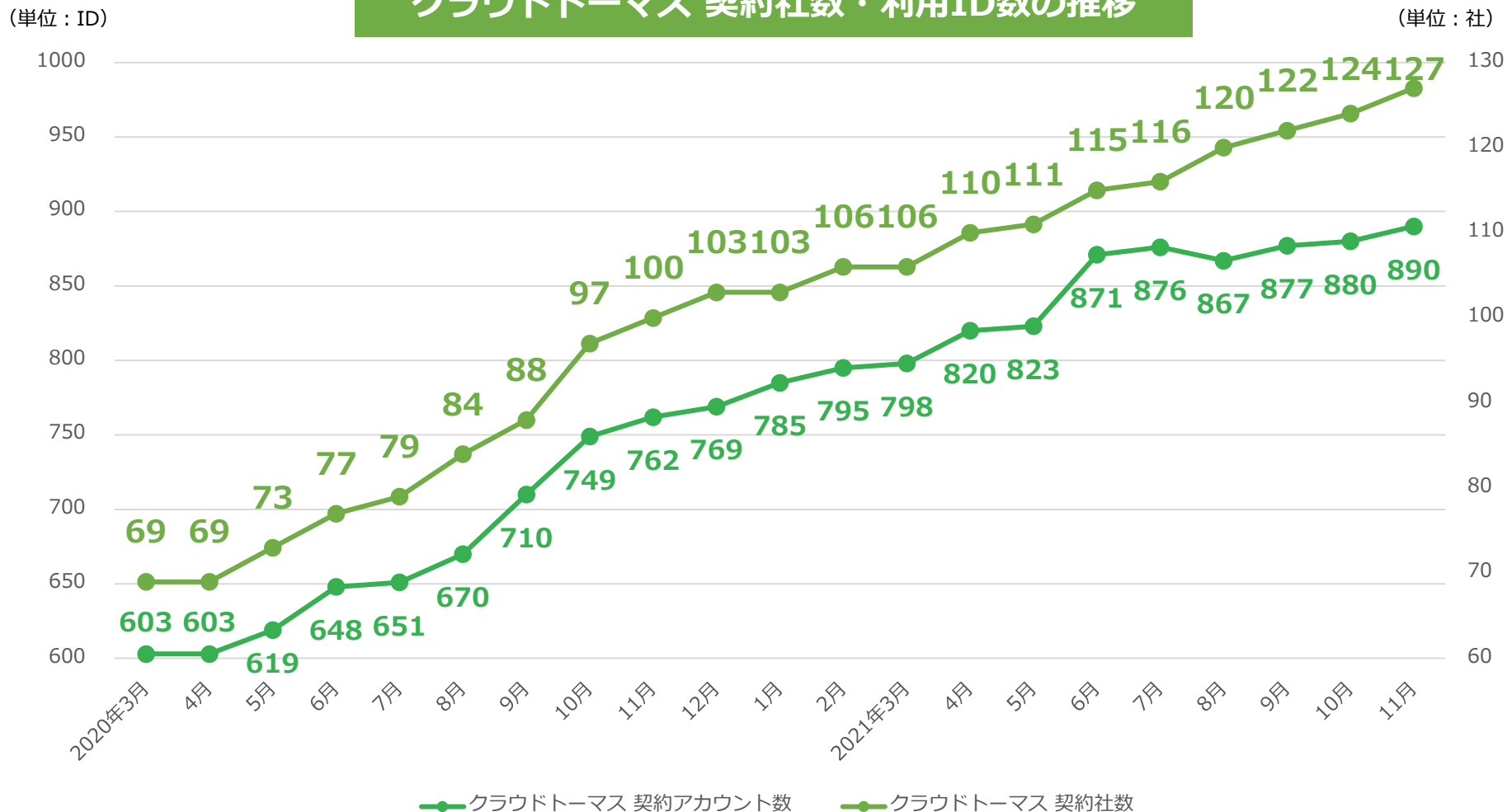
人依存からの脱却を実現することで、月間出荷件数1万件に対して1件~2件程に出荷ミ...

[続きを読む](#)

10. クラウドトーマス

クラウドトーマス、クラウドトーマスProの契約社数は堅調に増加。
クラウドトーマスProは業界パッケージをリリースし販売強化。

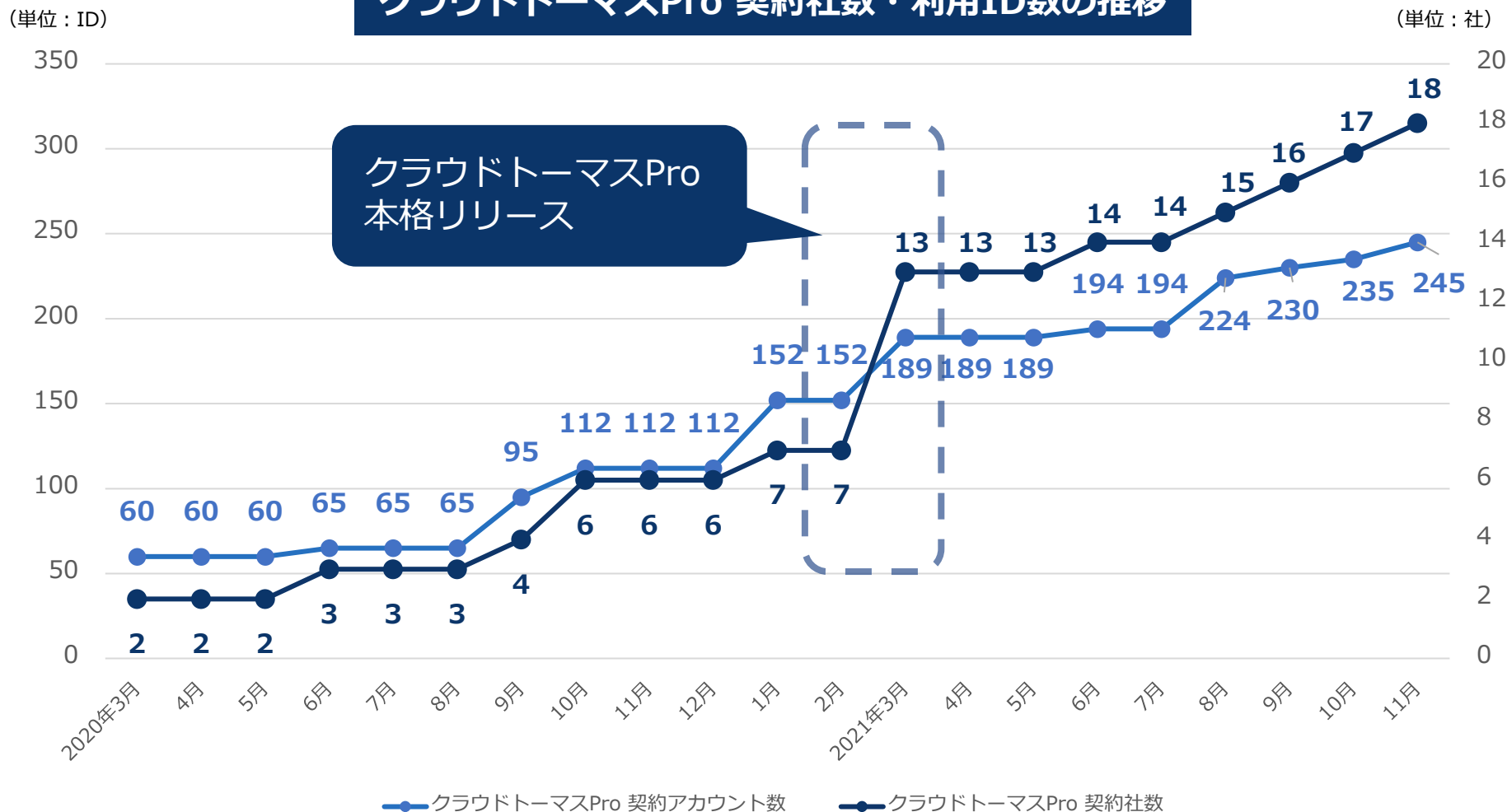
クラウドトーマス 契約社数・利用ID数の推移



11. クラウドトーマスPro

クラウドトーマス、クラウドトーマスProの契約社数は堅調に増加。
クラウドトーマスProは業界向けパッケージをリリースし販売強化。

クラウドトーマスPro 契約社数・利用ID数の推移



IV. 今後注力する サービス

1. 冷凍冷蔵倉庫

食品のEC化と、コールドチェーンの拡充に商機

大規模 2022年1月
兵庫県尼崎市のEC通販物流センターに
冷凍・冷蔵物流センター
OPEN

冷凍冷蔵 1000PLの保管量
常温 1300PLの保管量
2300PL

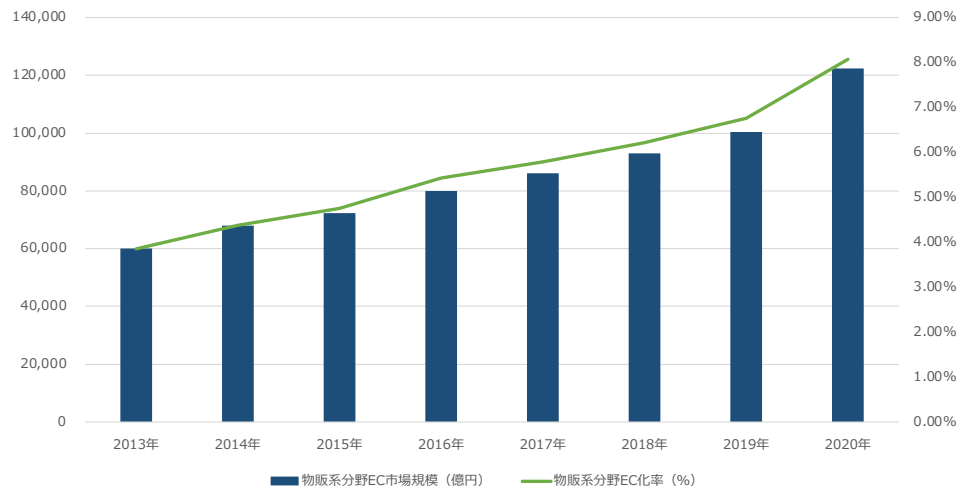
Eコマース需要増加への対応
キャパオーバーに対応

- 冷凍冷蔵倉庫の場所がない
- 注文に対し出荷が追いつかない
- 工場のキャパシティが限界
- 新倉庫の設立は費用がかかる
- 委託先倉庫で「対応できない」と言われた

**冷凍・冷蔵のお悩み
関通が解決します!**

冷凍・冷蔵食品物流アウトソーシングサービス

物販系業界のEC移行は、留まることのない状態



食品EC化率も上昇、これから大きく伸びる分野

物販系分野のBtoC-ECの市場規模 [抜粋]

分類	2019年		2020年	
	市場規模 (億円) ※下段：昨年比	EC化率 (%)	市場規模 (億円) ※下段：昨年比	EC化率 (%)
1 食品、飲料、酒類	18,233 (7.77%)	2.89%	22,086 (21.13%)	3.31%

(出典) 経済産業省 令和2年度「産業経済研究委託事業 (電子商取引に関する市場調査)」

2. Amazon セラー様向け物流サービスの拡充

Amazon セラー（出店者）様向け物流サービスの拡充

- Amazon限定ブランド対応
- Amazonマーケットプレイス対応
- Amazonセラー様向け冷凍冷蔵センター運営

3. キヤノンITソリューションズ様との関係強化

WMS「クラウドトーマスPro」 キヤノンITソリューションズ様との連携により 大手企業から選ばれるシステムソリューションへ進化

キヤノンITソリューションズ様との関係強化

2021.4.27

キヤノンITソリューションズ様と
クラウドトーマスの販売代理店契約の締結

[プレスリリースの詳細はコチラ](#)

2021.10.1

業界特化型のクラウドトーマス
For food / For medical / For Apparel
の販売開始

[プレスリリースの詳細はコチラ](#)

キヤノンITソリューションズ様との連携を深め、
販売体制の構築へ

4. ワンストップEC自動化ソリューション

**KANTSUのEC自動化ソリューションが進化。
新しいフルフィルメントサービスへ**



V. SDGs への 取組み

SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
デジタルトランスフォーメーション	<p>物流に関連したICTスキルを伸ばす意欲のある国内外の若者をソフトウェア開発者または物流現場のICT技術導入技術者として雇用し、物流現場のICT技術を活用した管理手法、ソフトウェア開発及びこれに附帯する業務に取り組むことで、新しい物流現場の管理手法及びICTスキルの習得を図っています。また、産学連携による取り組み等による物流におけるシステム、ソフトウェアの研究および開発を進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ロボット・RPA導入 ● 早稲田大学創造理工学部経営システム工学科吉本研究室との産学連携 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 社内キャリアアップ制度
環境保護	<p>物流で使用する資材のリサイクルに努め、倉庫管理システム「クラウドトーマス」を利用したペーパーレス化のほか、請求書及び契約書のペーパーレス化等も推進しています。また、物流センターへのLED照明導入等による省エネを推進する等、環境問題をはじめとする持続可能性（サステナビリティ）をめぐる課題に対する対応が、当社の持続的な成長を支える基礎となるよう、その体制構築に努めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 梱包資材のリサイクル ● LED照明設置 ● 請求書ペーパーレス化 ● 契約書のペーパーレス化

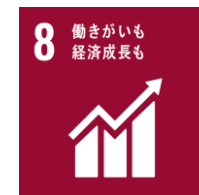
関連するSDGs



SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
福祉と教育	<p>障がいをお持ちのお子様向け教育事業として、放課後等デイサービスの教室を運営し、発達障害を抱える児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしております。また、障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所を運営し、一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートをしております。そのほか、企業主導型保育事業として保育園を運営しており、地域と積極的に関わりながら教育に取り組んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後等デイサービスの運営 ● 就労移行支援事業所の運営 ● 企業主導型保育園運営
ダイバーシティ	<p>ソフトウェア開発者としての外国人雇用、物流現場での外国人技能実習生の継続的な受け入れに加え、物流におけるシステム、ソフトウェアの研究及び開発のための研究機関「UTロボティクス研究所」をマレーシア日本国際工科院内に開設し、新しい技術導入の促進及び関連人材の雇用支援を図っています。また当社では、女性幹部を積極的に登用するほか、障がい者雇用についても積極的に推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人雇用の推進 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 女性管理職比率 2020年2月末:26.3% 2021年2月末:34.5% ● 障がい者雇用率 2020年度:3.18% 2021年度:6.29% ● 育児休業取得率 2020年2月期 取得率:100% 2021年2月期 取得率:100%

関連するSDGs



VI. ご参考資料

会社概要

会社名	株式会社関通
事業所	本社兼長田オフィス 大阪府東大阪市長田東3丁目3番32号 東洋交易ビル 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町111-4 梅田オフィス 大阪府大阪市北区大深町1-1LINKS UMEDA 8F WeWork LINKS UMEDA 東京システム開発部 東京都千代田区神田佐久間町3-37-1 文唱堂ビル 5F 物流拠点 関西12拠点、関東4拠点 [総面積 52,400坪 (2021年11月30日現在)]
設立	1986年4月
代表者	代表取締役社長 達城久裕
資本金	785百万円 (2021年11月30日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ (証券コード: 9326)
従業員数	287名 (2021年11月30日現在・常用雇用者数)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 物流サービス事業<ul style="list-style-type: none">EC・通販物流支援サービス楽天スーパーロジスティクスサービス受注管理業務代行サービス物流コンサルティングサービス■ ITオートメーション事業<ul style="list-style-type: none">倉庫管理システム「クラウドトーマス」チェックリストシステム「アニー」■ その他の事業



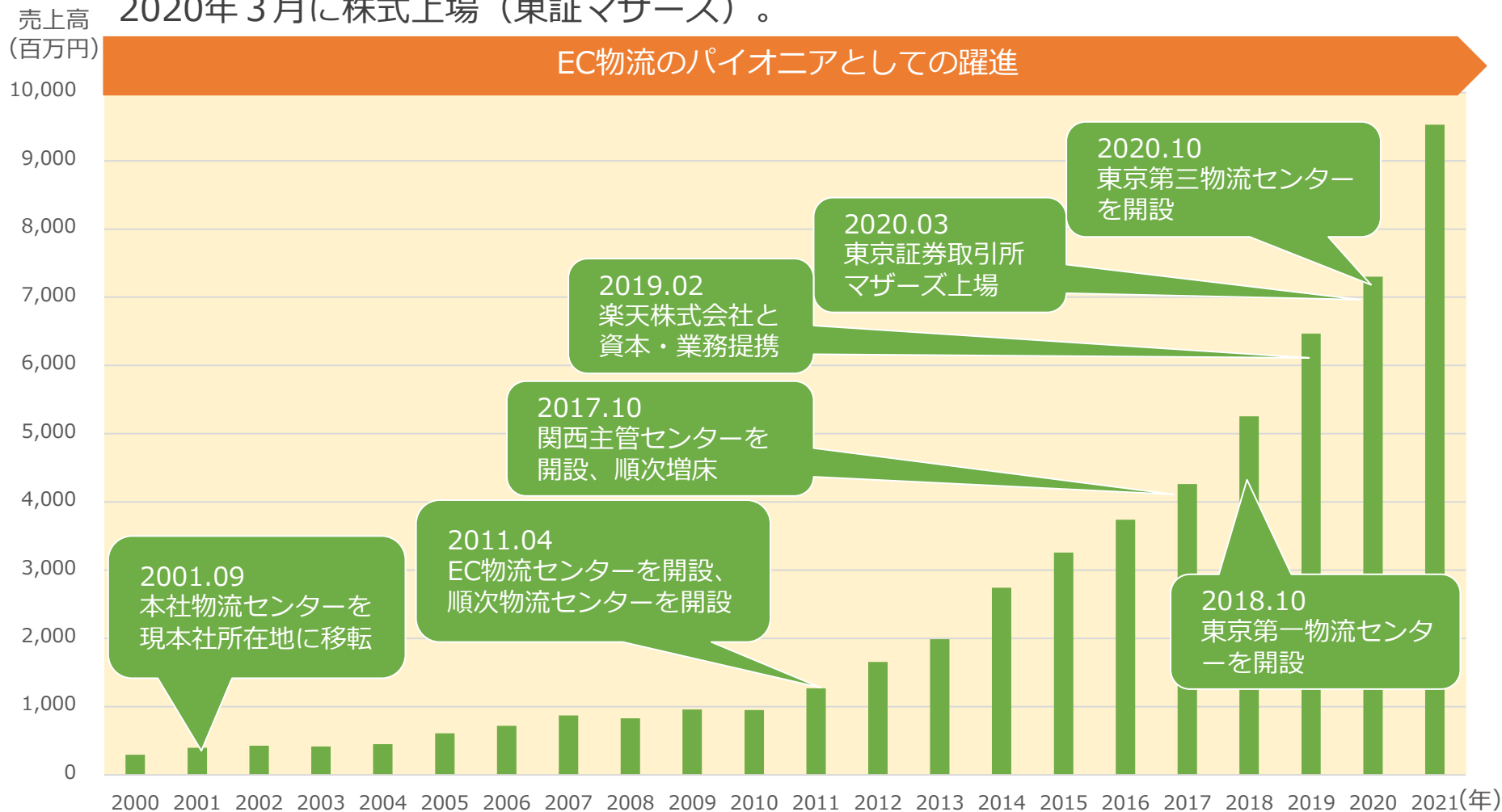
関西主管センター



東京第一物流センター

沿革

2000年頃にまだ小さなEコマース市場にEC・通販物流支援サービスを展開。EC市場の成長と歩調を合わせ2010年代に急成長、2019年2月に楽天と資本・業務提携、2020年3月に株式上場（東証マザーズ）。



その他の当社サービス

受注管理業務代行サービス [物流サービス事業]

EC・通販物流支援サービスの上流工程に位置し、Eコマースにおけるご購入者様の注文内容を確認し、電子メール対応や入金確認、出荷指示データ作成等の業務をお客様から受託。

「e.can」ご利用のお客様には「e.can Plus」
として、受注処理の自動化を行うことで、成長に対応するバックヤードを構築。また、一部業務はミャンマーの「ヤンゴンBPOセンター」を活用、効率化を推進。

受注管理業務代行サービスについて詳細はコチラ



(注) 「ヤンゴンBPOセンター」は、当社と業務委託契約を締結する外注先企業が運営しております。

RPA作成代行サービス「ippo! (イッポ!)」 [ITオートメーション事業]



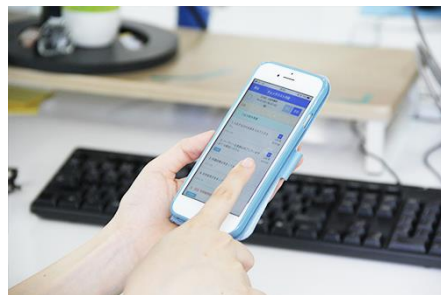
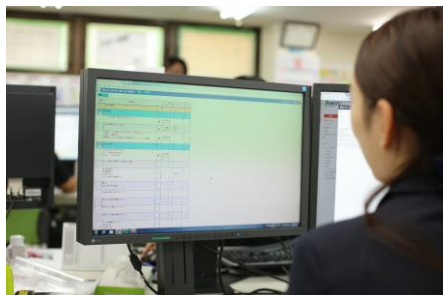
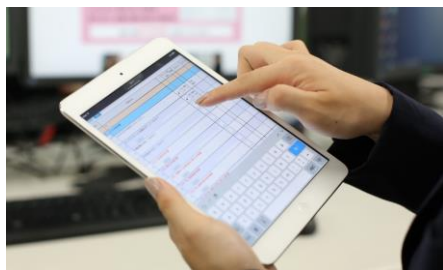
RPA で自動化した成功事例を多数もつ関通と、RPAツールである「BizRobo!」が連携し、RPA作成の代行、業務の自動化を支援する「ippo! (イッポ!)」をサービスとして提供。RPAを導入しようとする企業様や、導入したが上手く使えていない企業様のサポートをさせていただくサービスとなっております。

その他の当社サービス

現場作業の改善活動から生まれたクラウド型デジタルチェックリストシステム「アニー」

デジタルチェックリストシステム「アニー」 [ITオートメーション事業]

クラウド型の**デジタルチェックリストシステム**。当社がチェックリストの運用で業務改善を続けた結果、生み出されたソフトウェア。作業工程を**チェックリスト**として『**可視化**』することにより、作業の抜け漏れが無くなり、高い業務品質をお客様にご提供できる。リモートワーカーでの活用や重要書類作成などにも利用可能。



デジタルチェックリストシステム「アニー」について詳細はコチラ

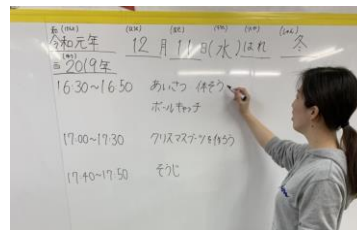


その他の当社サービス

障がい者向け教育サービス [その他の事業]



障害をお持ちのお子様向けの放課後デイサービスの運営
障害をお持ちの方向けの就労移行支援事業所の運営



育児支援サービス [その他の事業]



企業主導型保育園の運営



外国人技能実習生教育サービス [その他の事業]



外国人技能実習生のミャンマーでの職業訓練サービス



免責事項

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】
株式会社関通 IR担当
お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。
URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

